

TOPPAN ホールディングス、「第8回ロボデックス」に出展
独自の3Dセンシング技術を活用した、「ハイブリッド ToF®」カメラによるロボット制御を実演

TOPPAN ホールディングス株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 CEO: 磨 秀晴、以下 TOPPAN ホールディングス)は、2024年1月24日(水)から26日(金)に開催される「第8回ロボデックス」(会場:東京ビッグサイト)に出展します。



TOPPAN ブースイメージ
© TOPPAN Holdings Inc.

「ロボデックス」は「Factory Innovation Week」内で開催され、最新ロボットから周辺機器、ロボット開発技術まで幅広く出展されるロボット開発・活用展です。

TOPPAN ブース(小間番号 W53-78)では、自社開発の「ハイブリッド ToF®」(※1)センサを搭載したカメラ(以下「ハイブリッド ToF®」カメラ)の展示をはじめ、「ハイブリッド ToF®」カメラによるハイダイナミックレンジ(HDR)撮影技術とロボット制御のデモンストレーションをします。

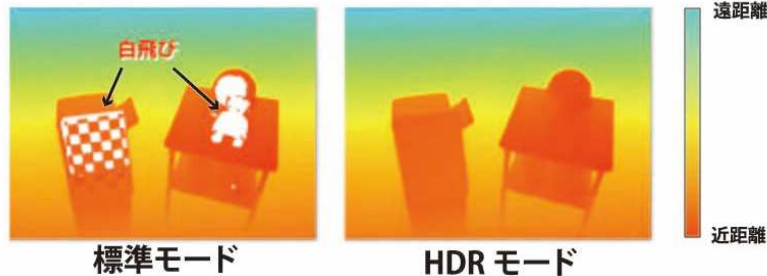
■主な展示内容**(1)「ハイブリッド ToF®」カメラによる HDR 撮影技術のデモンストレーション**

「ハイブリッド ToF®」カメラ独自の HDR 撮影技術により、撮影対象の色や、太陽光・照明光など周辺環境に影響されない撮影を実現。従来は難しかった反射率が高い物体と低い物体の同時検出と、太陽光の影響が大きい屋外や西日の入り込むような工場や倉庫などの撮影には適さない環境下における、安定かつロバスト(※2)な撮影が可能となり、ロボットの安全な自律走行と高精度な制御ができるようになりました。

TOPPAN ブースでは、反射率の大きく異なる物体を同時に撮影するデモンストレーションを通じ、「ハイブリッド ToF®」カメラの HDR 撮影技術を紹介します。



目視イメージ



「ハイブリッド ToF[®]」カメラの通常モード(左)と HDR モード(右)で撮影した距離画像の比較

© TOPPAN Holdings Inc.

(2)「ハイブリッド ToF[®]」カメラを搭載したロボットの自律走行のデモンストレーション

「ハイブリッド ToF[®]」カメラ用のソフトウェア開発キット(SDK)を、新たにロボット開発環境用 OS「ROS 2」対応することで、ロボットの自律走行制御における障害物検知や周辺環境認識の開発・実装が容易になりました。TOPPAN ブースでは、「ハイブリッド ToF[®]」カメラを搭載したロボットの自律走行のデモンストレーションを通じ、本 SDK で開発した障害物検知を紹介します。

■ 「第 8 回ロボデックス」について

名称： 第 8 回ロボデックスーロボット開発・活用展ー

会期： 2024 年 1 月 24 日(水)～26 日(金)

開場時間： 10:00～17:00

会場： 東京ビッグサイト

主催： RX Japan 株式会社

公式サイト URL： <https://www.fiweek.jp/tokyo/ja-jp/about/robo.html>

TOPPAN ブース：小間番号 W53-78

■ 「第 16 回オートモーティブワールド」について

「第 8 回ロボデックス」と同日に、東京ビッグサイトで開催される「第 16 回オートモーティブワールド」には、TOPPAN 株式会社(小間番号 E41-28)が、調光フィルム「LC MAGIC[®]」や中小型 TFT 液晶ディスプレイなどを出展します。

※1 「ハイブリッド ToF[®]」

三次元距離画像センサで、長距離測定が可能で、センサの画素一つひとつに外部光の成分を除去する機能を搭載しているため、外光のノイズを除去することができます。

https://www.holdings.toppa.com/ja/news/2022/06/newsrelease220616_2.html

※2 ロバスト

様々な外部の影響に左右されにくいこと。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上